

# KOCHI 2018 ROTARY 2019 CLUB SINCE 1937



## 週報



Weekly report 第3371回 2018年11月20日 2018年11月27日発行

### ● 会長挨拶

皆さん、こんにちは。今日は出席がかなり少ないですね。  
今日は、日本生命(相)高知支社長の末松史朗会員に「片岡直温と日本生命」～土佐からはばたいた財界人～と題して、卓話をさせていただきます。



### ■本日のプログラム [11月27日]

会員スピーチ  
アサヒビール(株) 高知支社長  
中林 圭 会員  
「高知県の近代史とアサヒビール」

会 長	横 田 英 毅
副 会 長	大 久 保 千 堯
幹 事	中 島 和 代
副 幹 事	中 澤 陽 一
会報責任者	武 樋 泰 臣

● **ロータリーソング** 「四つのテスト」

● **今週のピアノ曲** 「クリスマスソングメドレー」

ピアノ演奏：櫻井克年会員

● **来訪ロータリアン**

高知ロイヤルRC 片岡 由紀夫氏 岡崎 秀仁氏



◆ **感謝状贈呈**

西山彰一会員（ロータリー財団地区奉仕賞）

海治勝彦会員（第1回米山功労者）

入交章二会員、亥角政春会員、中澤陽一会員（米山功労者マルチプル）



● **幹事報告**

- ・ガバナー事務所より、ロータリー財団エンドポリオナウ 歴史をつくるカウントダウンキャンペーンの表彰状が届いていますので回覧します。
- ・高知南RCより、創立60周年への参加のお礼が届いています。

● **IMのご案内について**

来年1月19日午後1時から、日航ホテル高知旭ロイヤルでIMを開催します。テーマは「高知発 地方から発信」として、各クラブの皆さんからご意見を頂戴します。お誘い合わせの上、ぜひともご参加ください。



● **会員スピーチ**

**片岡直温と日本生命**

**～土佐からはばたいた財界人～**

日本生命保険(相) 高知支社長 末松 史朗 会員



私、昨年4月に高知に転勤して1年半、ロータリーは昨年8月の入会です。いろんな方とお知り合いになる中で、高知は多くの偉人を輩出した土地だと感じました。そして、日本生命の創業者である片岡直温も高知県津野町の出身であることを知りました。

皆さんの業種・業界にも「会社のシェア」という概念があると思います。手前みそですが、高知県における日本生命のシェアは、本社のある大阪に次いで高いんです。私も若いころから「高知県はニッセイ王国だ」と言われて、一度高知で仕事してみたいとずっと思っていました。今回、こちらに来て、創業者の片岡直温さんの存在が非常に大きく、そのDNAで高知支社も頑張っただけなのかなと思いました。この4月、津野町役場の裏にあった片岡家の生家並び

にお墓を改修し、そのセレモニーも報道されました。私も何度か足を運びましたが、日本庭園など素晴らしいものになっていますので、ぜひ一度足を運んでいただけたらと思います。

片岡直温は1856（安政6）年、高知県下山村（現在の津野町）に生まれました。23歳で葉山小学校の教員をやめ、高岡郡の役人になります。そのとき、高知県政の改善を求めて、伊藤博文に直談判に行く有志連合の代表に選ばれ、若くて怖いもの知らずだった直温は着の身着のまま旅立ったといひます。

伊藤の屋敷では5回も門前払いとなります。それでも諦めず、ようやく6度目で面会に成功しますが、その直談判中に伊藤と大げんかをして屋敷をたたき出されます。しかし、この面会で伊藤に才能を認められた直温は、内務省に推薦され官僚の道へと進みます。その後、当時の中井滋賀県知事とともに滋賀県庁に入り、県政の改革に腕を振ります。

一方、日本生命の創業者である、滋賀彦根の銀行家、広世助三郎は中井知事に、日本生命創立計画を相談し、自



分が経営にあたる余裕がないので、代わって実務を執る人材の紹介を依頼しました。そこで推薦されたのが、片岡直温です。助三郎の生命保険事業の意義に共鳴した直温は、滋賀県警察部長の職を投げ打ち、日本生命の創業に協力します。

明治22年、日本生命は大阪北浜の仮事務所、明治生命、帝国生命(現・朝日生命)に次ぐ日本で3番め、関西では初の生命保険会社として開業。直温は、土佐出身で武士であった自分が社長では、商売の町、大阪で信頼は勝ち取れないと考え、社長には大阪人で信用のある人と、大阪一の両替商、鴻池善右衛門を招きます。

創業当時、保険の思想は全く普及しておらず、日本生命も役員17名という少人数でスタートします。そのため、直温は自ら陣頭に立って全国各地を奔走し、保険思想の普及、代理店の設置、契約者の勧誘に尽力します。そのひたむきな情熱は「馬車馬主義」と呼ばれ、日本生命の社業の基礎固めに大きな役割を果たしました。直温自身も「その日常においては、会社の業務以外、徹頭徹尾、脇目も振らなかった。これを馬車馬主義と称し、3年間はやり過ぎねばと覚悟した。保険の書類を懐に、人に会えば保険の話の一点張りで、他のことは決して口にしなかった」と回想しています。

直温をはじめ職員一同懸命の働きで、日本生命はわずか10年間で保有契約高業界首位の座を獲得するまでに成長。明治36年、直温は善右衛門より社長職を引き継ぎ二代目の社長となります。このころ、日露戦争が起り、国債を大量に引き受けた日本生命は機関投資家として確固たる地位を築きます。大正期になると大戦景気により、生命保険業界も飛躍的な発展を遂げ、鉄道、電力、ホテル、百貨店などに積極的に融資、社会資本整備に貢献。土佐電鉄鉄道もその一つです。

大正8年、直温は自身の夢であった政治の道に専念するため社長を退任、その後、商工大臣、大蔵大臣を歴任、昭和9年、76歳で永眠します。

直温の父、直英は土佐勤王党の一員として、幕末維新のために奔走し、私財をはたいて脱藩していく同志を支援しています。母、信子は土佐の賢母として人気があり、若くして夫を失い、借金と幼い子どもを抱えながら懸命に働き、2人の息子をりっぱに大成させます。兄、直輝は大人しく温厚で、大阪ガスや南海電鉄、阪神電鉄の経営のほか、多くの企業を支援し「中山寺の大御所」と呼ばれていました。兄弟ともにふるさとに強い愛着を持ち、年に数度は帰省していたそうです。直温の回想録も「故郷の山川を仰ぎ見て感慨無量」という一文で締めくくられています。

当時の生命保険の宣伝ポスターの標語は、「家庭の安心と幸福」「愛する者のために」「生命保険で明るく楽しい家庭を築きましょう」といったものでした。イギリスでは、

生命保険証書は「Last Love Letter」と呼ばれ、万が一のことが起こった後、家族に愛情を届けることができる仕組みだと言えます。直温が精力的に保険事業の拡大に邁進したのは、保険という仕組みの根底にある“家族愛”を、世間に広めたいという強い思いがあったからだと思います。日本生命の創業以来の基本理念は「共存共栄・相互扶助・お客様第一主義」です。これからも、直温が保険事業に込めた「愛する人を守りたい」という思いを、我々も継承してまいります。

私ども日本生命は創業以来、今年で130年目を迎えます。現在、全国で1,200万人のご契約者、支社108ヵ所、従業員は7万名。高知支社の職員は530名、支社を開設して100年になります。現在、日本生命は各方面でいろんな活動をしています。2020年のオリンピック・パラリンピックに向けて、JOCとゴールドパートナー契約を締結。野球部では、今まで29名のプロ野球選手を輩出していますし、卓球部は発足したTリーグに企業チームとして参戦しています。さらに、陸上の桐生選手とスポンサー契約をして支援しています。

高知県内では「ニッセイ土佐山田の森」「ニッセイ安芸の森」などの植樹活動や活動地域の清掃。子どもさんへの教育活動として、出前授業や受入授業を実施しています。また、4月には、高知県と地方創生推進に向けた連携と協力に関する協定、いわゆる包括協定を締結しました。地産外商などの産業振興、少子化対策、女性の活躍の促進、健康づくりや地域の見守り活動をさせていただくことに加えて、津野町とタイアップしたプロジェクトへの協力。野球部による少年野球教室の開催など、今後も県と協力して貢献していきたいと考えています。

最後に、11月は「生命保険月」です。これは昭和22年から始まり、今年で72回目。業界を挙げて生命保険を通じて、全国の皆さまに安心・安全をお届けしています。ぜひ、ご理解をいただき、ご協力を賜りたいと思います。



◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	メイクアップ	出席率
11月20日	(-10)92	45	22	15	73.17
11月 6日	(-5)92	54	7	26	91.95

◇ 例 会 変 更 ◇

高知ロイヤルRC	12月 4日	ロータリー休日(旭)	高知北RC	12月17日	クリスマス夜間例会(三)
高知東RC	12月19日	忘年夜間例会(阪)	高知南RC	12月20日	年内最終夜間例会(阪)
高知中央RC	12月20日	クリスマス夜間例会(城)	高知西RC	12月21日	忘年夜間例会(三)
高知RC	12月25日	忘年夜間例会(三)	高知ロイヤルRC	12月25日	クリスマス夜間例会(旭)
高知東RC	12月26日	ロータリー休日(阪)	高知南RC	12月27日	ロータリー休日(阪)
高知中央RC	12月27日	ロータリー休日(城)	高知西RC	12月28日	ロータリー休日(三)
高知北RC	12月31日	ロータリー休日(三)			

※例会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)…ホテル日航高知旭ロイヤル

 **ニコニコ箱**

- 高知ロイヤルRC 本日は貴重なお時間を頂きまして、本当にありがとうございました。1月19日、旭ロイヤルホテルでお待ちしております。因みに私も津野町出身の片岡です。血縁ではないと思いますが。
- 井上 良介 2018カシオワールドゴルフ38回を迎え、高知での開催は14回目になります。本大会が無事に行われるようニコニコします。
- 杉本芙美子 (高知RC女子会一同) 私の結婚50年に女子会員の皆さまから、温かいお祝いを過分にいただきました。感謝の気持ちを女子会として燦燦基金に寄付させていただきます。
- 荒井奈々絵 先週の例会後の出来事です。三翠園の駐車場がいっぱいでしたので、他パーキングに車を止めておりました。いざ出ようとした際、財布を忘れていたことに気づき困っておりましたところ、森 由枝会員に助けをいただきました。天使に見えました。感謝をこめましてニコニコいたします。



○ **週報掲載の文字訂正について**

11月13日にお話しいただいた藤原充子弁護士よりご指摘がありました。  
 第3370回(11月20日配布)週報の訂正をお願いします。  
 誤字箇所は次の通りです。  
 ・三井信託銀行 → 三菱信託銀行(左欄・上から8行目)  
 ・古連 → 虎林(次ページ左・下から3行目)  
 よろしくをお願いします。

◎ **高知県子ども英語弁論大会(オーテピア)**

11月23日、オーテピアで第46回高知県子ども英語弁論大会が開催され60人の子ども達が参加しました。

最初に横田会長が祝辞を述べられ、表彰式では小学校低学年の部 最優秀者の前田優月さん(はりまや橋小学校3年生)に高知ロータリークラブ会長賞を贈りました。



● **累計額 [11月20日現在]**

ニコニコ箱	519,000円	ロータリー燦燦基金	201,121円	ポリオ募金	205,100円
-------	----------	-----------	----------	-------	----------

■ **次週のプログラム [12月 4日]**

ゲストスピーチ  
 米山記念奨学生  
 ラナワカゲ チャミラ デシャニさん

創立 昭和12年10月  
 例会日 火曜日 12:30~13:30  
 例会場 三翠園ホテル TEL(822)0131  
 事務局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館1階  
 TEL(824)8660 FAX(824)2529  
 E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp  
 HPアドレス http://www.221.ne.jp/kochirc/